

或いは魂の止まり木

第21回 OMS 戯曲賞大賞受賞作品
A級MissingLink 第23回公演
作 土橋 淳志 / 演出 竹内 銃一郎

2016年 7月15日(金)~18日(祝)

AI・HALL

「或いは魂の止まり木」は不思議に明るい虚無感、軽やかな喪失感を漂わす作品だ。
一読して感じた齟齬が、読み返すうちにやさしく噛み合い、心地よいリズムを奏ではじめる。
これまで作者が執拗にこだわり続けてきたミザナビーム、あるいは入れ子構造といったスタイルが、
この作者にしか演奏不可能な固有の楽器に進化した。そう確信させた。
生田 萬(第21回OMS戯曲賞総評より)

MISSING LINK
A級

『或いは魂の止まり木』は
2012年『悲惨な戦争』、2014年『Moon guitar』に続く、
A級MissingLink＋竹内銃一郎の第3章にして集大成なのである。

第21回 OMS 戯曲賞大賞受賞作品 A級MissingLink 第23回公演

ある 或いは魂の止まり木

作 土橋 淳志 / 演出 竹内 銃一郎

松原 一純、細見 聡秀、松寄 佑一、林田 あゆみ、伊藤 結

保、筒井 加寿子(ルドルフ)、武田 操美(劇団鉛乃文檜)、川末 敦(スクエア)

2016年 7月 15日(金) 19:30
16日(土) ☆ 14:00 / 19:00
17日(日) ☆ 11:00 / 15:00
18日(月) 祝 15:00

開場は開演の30分前、受付開始は40分前 *未就学児童の入場はご遠慮いただいております。
*☆の回は、終演後にアフタートークがございます。16日(土)14:00の回 水沼 健(演出家・劇作家・俳優 壁ノ花団/MONO)
17日(日)11:00の回 小暮 宣雄(京都橘大学 現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)

料金 [日時指定、全席自由] 一般前売 3,000円 一般当日 3,300円 ペアチケット 5,000円
(前売・予約のみ)
シニア料金 前売2,700円 当日3,000円 学生前売 1,500円 学生当日 1,800円
(60歳以上・要証明書) (要学生証) (要学生証)
【発売日:2016年5月16日(日)午前10:00】

会場: **AI・HALL**
〒664-0846
兵庫県伊丹市伊丹2丁目4-1
TEL:072-782-2000
http://www.aihall.com

チケット取扱 ◎ A級MissingLink

Web予約 **CoRich** <https://ticket.corich.jp/apply/73179/>
TEL予約 080-4249-9902 (おざき) E-Mail ticket@aqml.jp
お名前・ご来場日時・人数・ご連絡先をお知らせ下さい。
こちらからの返信をもってご予約完了となります。

◎ アイホール TEL予約 072-782-2000 (火曜日休館)

お問い合わせ **A級MissingLink**

〒569-0087 大阪府高槻市千代田町4-1-202

TEL 080-4249-9902 (おざき) E-Mail info@aqml.jp

URL <http://www.aqml.jp> twitter twitter.com/aqml2010



或いは魂の止まり木

土橋くんと細見くんに初めて会ったのは、大学の教室だった。ぼくらはクラスメートだったのだ。嘘です。彼らの劇団の稽古場が、わたしの住まいの近くにあると聞いて、ちょっと稽古を見せてくれる? というところからわたしたちの関係は始まったのだ。これは本当。あれから十余年。まさかこんなことになるとは!

わたしの戯曲は、A級MissingLink土橋演出でこれまで二度、30年ほど前に書いた『悲惨な戦争』が2012年3月、書き下ろしの『Moon guitar』が14年10月に上演されている。ともに上々の出来栄で、作家として、彼らにはとても感謝している。『或いは魂の止まり木』の初演を見ている。これも記憶に残る快作だったが、なんとか前作を上回るものをと、倍返しのための秘策を練っている。わたしは義理堅いのだ。これは嘘です。

竹内銃一郎

劇作家・演出家 1947年生まれ。
愛知県出身。
早稲田大学文学部在学中に映画のシナリオを書き出し、75年木場勝己らと「斜光社」を結成。「檸檬」「SF大冒険」などの作品を発表。79年に斜光社を解散後、80年、「劇団秘法零番館」を旗揚げ。これを機に筆名を「竹内純一郎」から「竹内銃一郎」へ改名。『あの大鴉、さえも』で第25回岸田國士戯曲賞を受賞。95年第1回 OMSプロデュース『坂の上の家』(作:松田正隆 第1回 OMS 戯曲賞大賞受賞作)の演出を担当。96年佐野史郎と共に結成したユニット「JIS企画」公演『月ノ光』で読売文学賞(戯曲・シナリオ)、第30回紀伊國屋演劇賞個人賞を、98年には、『今宵かざりは…』『風立ちぬ』で第49回芸術選奨文部大臣賞を受賞。2004年に紫綬褒章受章。2000年に着任した近畿大学教授を一昨年、定年退職後は京都に転居。現在は自宅で戯曲塾を開催するなど、後進の育成にも努める。



い ろんな人に背中を押され、いや、押されというよりも突き飛ばされるように踏み出した一歩がこの戯曲です。書いたというより、書いてしまった。

だから、いつもは隠しているつもりの、無意識のようなものが露呈しているのではないか。それが少し怖くもあり、この戯曲の興味深いところなのではないかと思います。自分で言うのもなんですが。

土橋淳志



劇団紹介— A級MissingLink

2000年に旗揚げ。主に大阪拠点に活動。演劇の制度にまみれつつ、何か面白いことができないかを模索する作風が特徴。これまでに、精華演劇祭 vol.10 (08年精華小劇場)、現代演劇レトロスペクティブ(12年 AI・HALL) など劇場主催企画に参加。
11~12年には、仙台の劇団・三角フラスコとの合同公演で3都市(大阪・仙台・東京)を巡演。
脚本と演出を担当する土橋淳志は、『小屋ヲ建テル』で若手演出家コンクール2002にて最優秀賞受賞。09年に『裏山の犬にでも喰われる!』で第16回OMS戯曲賞佳作、12年に『限定解除、今は何も語れない』で第19回OMS戯曲賞佳作を受賞。
14年に『或いは魂の止まり木』で第58回岸田國士戯曲賞候補、第21回 OMS 戯曲賞大賞を受賞。

スタッフ

舞台監督: 今井康平(CQ) / 舞台美術: 西田 聖((株)イーステージ) / 照明: 海老澤美幸
音響: 奥村朋代(GEKKEN staff room) / 衣装: 上島 和 / 宣伝美術: 清水 俊洋 / 記録撮影: 武信 貴行
記録写真: 白澤 宏造 / 制作: 尾崎雅久(尾崎商店)

助成: 大阪ガス株式会社 / 芸術文化振興基金

提携: 伊丹市立演劇ホール 主催: A級MissingLink